

コンピュータによる プレゼンテーションの基礎

東京学芸大学
篠原文陽児
E-mail: shinohar@u-gakugei.ac.jp
URL: <http://www.u-gakugei.ac.jp/~shinohar/>

1

はじめに

- 用語
- プレゼンテーションの意味
- プレゼンテーション・ソフトウェア
- 必要な機材

2

用語について

- プレゼンテーション
- ホームページ
- 挿入・張り付け
- ソフトウェア
- ハードウェア
- 周辺機器
- 素材用 CD-ROM
- インターネット

3

プレゼンテーションの意味

- 良い内容を分かりやすく伝える
 - 思いのままにアイデアの素、つまり、「情報カード」を作成し、それを支援したり反証したりするデータや文献を調べ客観化し、カードの内容を校正し、複数のカードを論理的に並べる。
- 効率のよい情報提供
 - いっそう深く理解してもらうため
 - 強烈な印象を与えるため
 - 情報の視覚化
 - グラフ化、図案(イラスト)化
 - 強調(色彩、大文字、アンダーライン、枠で囲む)

4

コンピュータ・ソフトウェア (1/2)

- プレゼン用ソフトウェア
 - MS-Powerpoint (マイクロソフト社)
 - Aldus Persuasion (アルダス社)
- ホームページ作成用ソフトウェア
 - Netscape Composer (ネットスケープ社)
 - MS-FrontPage (マイクロソフト社)
 - Homepage Builder (BM社) 他
 - ワードプロセッサなど各種ソフトウェアのWeb形式 (htmlなど) 保存

5

コンピュータ・ソフトウェア (2/2)

- その他
 - Web上の素材
 - 素材用 CD-ROM
 - 具薄タノ、他
 - 画像編集用ソフトウェア
 - ペイントブラシ、PhotoShop、プレミア、他

6

コンピュータ・ハードウェア (1/2)

- コンピュータ本体
- 周辺機器
 - CD-ROM、CD-R/RW、MO
 - プリンター
 - ビデオキャプチャーボード
 - デジタル・スチル・カメラ
 - ビデオカメラ
 - スキャナー
 - 通信機器 (モデム、TA、LAN関連機器)

7

コンピュータ・ハードウェア (2/2)

- その他
 - インターネット
 - 素材用 CD-ROM
 - 具薄タ、他
 - 保存用媒体
 - MO、zip、メモリースティック、マイクロドライブ、スマートメディア、マルチメディアカード 他
- 演示用
 - 液晶プロジェクター
 - ビデオコンバーター
 - インターネット

8

例 :テキストの挿入・貼り付け

小学校

● 第1章 総則

各教科等の指導に当たっては、児童がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段に慣れ親しみ、適切に活用する学習活動を充実するとともに、視聴覚教材や教育機器などの教材・教具の適切な活用を図ること。

9

例 :画面の切り替え効果

小学校

● 第1章 総則

各教科等の指導に当たっては、児童がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段に慣れ親しみ、適切に活用する学習活動を充実するとともに、視聴覚教材や教育機器などの教材・教具の適切な活用を図ること。

10

例 :ビデオ、静止画の張り付け

情報環境

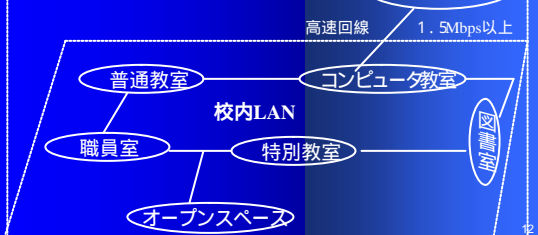
- 高度情報社会から高度情報通信社会へ
 - マルチメディア、インターネット
 - テレビ会議システム、衛星通信
- マルチメディアとインターネット等
 - 発散的思考、創造的思考への寄与
 - 表現、感性、意欲 (の持続)、構成、総合
 - 論理的思考
 - 分析、仮説形成、抽象、推測、構造
- 生きる「心の教育」
 - 創る、見分ける、残す

11

例 囲み曲線、直線、縦・横文字

2005年の学校環境のイメージ図

● すべての学校・教室



12

例 :ハイパーリンク

一般教書演説

(B.クリントン、アメリカ 2000.01)

● デジタル格差(Digital Divide)

コンピュータを持っているかどうか、インターネットにアクセスできているかどうかで、経済的、社会的にハンディができる、現実になってきている。

- > 1999.07 読売省レポート(1998年現在)

コンピュータを持っている大学卒の人は、初等教育しか受けていない人の8倍。インターネットのアクセスは、大卒が同じ6倍。
1997年から1998年間で：

- (1) 最終学歴(大卒か小卒か)による格差は、25%
- (2) 所得格差は、29%
- (3) 地方人によるアクセスは、都会人の2.3。

● 「情報技術」から「バイオテックを中心とした「科学技術」の「生命科学」への基礎研究の推進へ転換と移行

13

話し方の演出

- 話の「間」
 - 相手への質問 参画
- 難しい話
- 事例
- 比喩
- ボディ・ランゲッジ

14

プレゼンテーションの評価

- (1) 言語
言葉遣い、声の大きさ、主語述語、明確さ
- (2) 非言語
態度、くせ、身振り手振り、アイコンタクト
- (3) 教材・教具利用技術
メディア利用による教材作成技術、教具利用技術
- (4) 理解度
わかりやすい説明、ためになった：- 時間配分、具体例
- (5) 関心度
興味深く聞けた、よく考えていた：- 喩え、導入
- (6) 伝達度
同じ内容を他者に説明できる

15

課題

- 次の2つのいずれかを選択して、提出しなさい。
- (1) あなたのアイデアを、データや文献などを付加して客観化し発展させ、PowerPointで表現してください。
 - (2) あなたが人に伝えたいことや訴えたいことを、データや文献などを付加して客観化し、PowerPointで表現してください。

提出物：

- (1)または(2)の概要を記述した用紙 1枚
- (1)または(2)のPowerPointファイルを記録したフロッピーディスク1枚

16

コンピュータによる プレゼンテーションの基礎

東京学芸大学
篠原文陽児
E-mail: shinohar@u-gakugei.ac.jp

17